

日本生体医工学会 平成22年度 第1回理事会 議事録

日時： 平成22年6月24日 14時～17時

場所： 大阪国際交流センター さくら西

出席者

会長	副会長	理事																理事候補者		理事候補者・第49回日本生体医工学会大会長	理事候補者	監事		幹事		新幹事		支部				事務局	
楠岡 英雄	安藤 謙二	福井 康裕	生田 幸士	石原 謙	伊関 洋	小笠原 康夫	佐久間 一郎	佐藤 正明	砂川 賢二	土肥 健純	橋爪 誠	林 紘三郎	堀 正二	牧川 方昭	湊 小太郎	山家 智之	山越 憲一	田村 俊世	千原 國宏	杉町 勝	千田 彰一	阿部 裕輔	菊地 眞	山口 隆美	植野 彰規	松村 泰志	中村 亮一	大城 理	河原 剛一	松田 兼一	岩田 彰	梶谷 文彦	徳山 久美子
○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○

配布資料

- 22-1-2 平成21年度第5回理事会議事録（案）
- 22-1-3-① 平成22年度第1回理事会入退会審査対象者
- 22-1-4-① 定款変更案へ寄せられた質問
- 22-1-4-② 選挙規定改定案
- 22-1-7-② 意見書
- 22-1-8-① ME技術教育委員会委員追加者リスト
- 22-1-8-② 覚書、ME試験会議開催回数推移表など
- 22-1-9 日本生体医工学会平成22年度会務分担
- 22-1-11 第50回日本生体医工学会大会の概要

議事

1. 理事会成立の件（総務 湊）

定款に定める要件を満たしている（理事出席 11 名 委任状 7 通 計 18/18 名）ことを確認して理事会成立を宣言した。

2. 前回議事録承認の件（審 総務 湊 資料 22-1-2）

前回議事録について承認された。

3-①. 入退会状況の件（審・回覧 会員 資料 22-1-3-①）

入会：正会員 19 名 準会員 8 名

退会：正会員 41 名 準会員 6 名

会員資格変更：準会員（準→正）2 名

全入退会、資格変更が承認された。

この結果、現況は正会員（国内）2283 名、正会員（海外）42 名、準会員（国内）371 名、準会員（海外）0 名、維持会員 16 社 24 口 顧問 3 名、名誉会員 56 名となることを確認した。

3-②. 代議員退会の件（審・回覧 会員）

- 中村肇（神戸大学）、鎗田勝（日本光電工業株）の 2 名の代議員について、退会が承認された。

4-①. 一般社団法人化作業の現状報告（報 会長・総務 楠岡、湊 資料 22-1-4-①）

- 事務局の所在変更に伴って定款変更の必要が生じ、定款変更案に対する意見を問い合わせしたところ、それ以外の箇所にも意見が寄せられた（資料）。
- 各問い合わせに対し、資料の通り回答することについて承認された。

4-②. 選挙規定改定審議（審 総務 湊 資料 22-1-4-②）

- 選挙規定についての改定案が提示された。
- 従来は 2 段階選挙で理事・監事を選んでしたが、新案は代議員から 1 段階で選ぶこととなる。
- 従来は代議員に会長指名枠があったが、これを廃し、M 系/E 系、所属支部、企業/非企業のバランス良く選出される仕組みとする。
- M 系、E 系の区別が付きにくい人をどう扱うかについて議論された。その他の系を作ると、その代表が理事に選ばれる必要があり悩ましい。今後の検討課題とすることとなった。
- 案では、監事が選挙管理委員長を務めることになっているが、監事が業務執行についての責任をとる形になるのは適切でないので、非改選の理事が選挙管理委員長を務めることに変更することとなった。

5. 選奨各賞受賞者決定報告（報 選奨 橋爪 総会資料 33 頁）

- 総会資料の通り平成 21 年度受賞者が決定し、表彰式が行われる。
- 論文賞・阪本賞
- 奨励賞・阪本研究刊行助成賞・阿部賞が 3 つ
- 新技術開発賞
- 荻野賞
- 科学新聞社顧問の坂田氏が授与し、科学新聞にも名前が掲載されることとなる。

6. 専門別研究会協議会について（審 学術 生田）

- 6 月 26 日（土曜日）に開催されることについて報告があった。
- 評価委員会の報告、公認会計士からの意見の報告となる。

7-①. 平成 21 年度収支決算及び平成 22 年度収支予算案の件（報・審 財務 福井 総会資料 15 頁）

- 総会資料に基づき平成 21 年度収支決算の報告があった。
- 購読料収入、大会関係費、試験関係費が予算より増えたことなどにより、収入は、130,058,232 円となり、予算額より 14,049,232 円の増となった。
- 支出は、大会費が収入と平行して増となったが、依頼原稿が減っているために機関誌出版費が減、専門別研究会関係費、業務活動費が減となり、全体として、122,874,789 円となり、予算より 780,211 の増となった。
- 当期収支差額は+7,033,443 円であり、次期繰越収支差額は 110,504,582 円となった。
- 平成 22 年度収支予算案について総会資料に基づき説明があった。
- 予算案に追加分として、50 周年記念大会講演会 WG の予算 50 万について田村次期会長から説明され承認された（他は既に承認済み）。
- 平成 21 年度収支決算および平成 22 年度予算案について承認された。

7-②. 公認会計士からの意見書について（報・審 財務 福井 資料 22-1-7-②）

- これまでの繰越金について報告がない支部がある。このため、法人財産が算出できない。法人財産をもとに公益目的支出計画を策定するために、全ての資産を報告してもらう必要がある。
- 支部関係費や専門別研究会費の過去の繰越金の扱いについては今後の課題とすることとなった。
- 公認会計士より、ME 技術教育委員会について支払取引の承認手続きが不明である点の指摘があった。ME 技術教育委員会の中で承認された監査役を決めていただき、

支出の妥当性を判断し承認印を押して貰うこととする。ちなみに、試験関係費以外は財務理事の福井先生が承認している。本日、石原 ME 技術教育担当理事が欠席のため、次回理事会にて再度審議することとする。

8-①. ME 技術教育委員会委員案承認の件（報・審 ME 技術教育 石原代徳山 資料 22-1-8-①）

- I 種、II 種の試験に人が必要であり、ME 技術教育委員会委員として資料の 23 名を追加し、75 名をそのままとし、計 98 名の委員とすることについて承認された。
- 委員のうち、実働部隊は半分ぐらいであり、委員を整理した方が良いのではないかとの意見がだされた。今後の検討課題となった。

8-②. CE コーポレーションとの業務委託契約について（報・審 ME 技術教育 石原代徳山 資料 22-1-8-②）

- 試験事務局との業務委託契約金が 2006 年以来据え置かれているが、業務量が増え、人件費がベースアップで増加しているため、委託費を約 6%増、100 万程度の増として欲しいとの要望があった。
- 資料の新しい委託費について承認された。
- 実際の費用は受験者数で変わるため、予算案は変更しないとの説明があった。

8-③. 医療機器のアラームに関する安全使用等のガイドブックの作成について（報・審 ME 技術教育 石原）

- 医療機器のアラームに関する安全使用等のガイドブックを、CE 委員会等が中心になって作成したいので、50 万円程度を予算化して欲しいとの要望が技術教育委員会の複数の先生方から上がっていると報告があった。
- 計画書を出していただき、今年度の成果物ができれば予備費から支出とし、次年度になるのであれば、次年度は予算化する方針とする。
- 生体医工学会でどのようなガイドライン等を出すかを定める委員会がないので、どこかに機能を持たせ、学術的な位置づけを明確にして計画的に整備していく方が良いとの意見があった。

9. 平成 22 年度会務分担案の件（審 次期会長 田村 資料 22-1-9）

- 田村次期会長から、平成 22 年度の会務分担について、資料に基づいて説明があり、承認された。

10. 第 49 回大会（報 第 49 回大会長 千田）

- 大会中の総会について、代議員からの委任状 92 名、出席 30 名の返信があり、回

答無しが 30 名であった。委任状の提出を促すよう協力依頼があった。

- 第 4 9 回大会では、抄録を全て英語にするのは難しかった。タイトルは英語、中身は英語推奨とした。抄録は、英文化したが、抄録の 40%は英語で投稿された。
- セッション名の英語にすることを忘れていて、やや中途半端になってしまった。
- 専門別研究会をオーガナイズドセッションとはしない方針とし、招待は受け付けないこととした。しかし、内容的には充実した。
- ランチョンセミナーの弁当代を学会で持ち、7 題を確保した。
- 一般演題として 417 題、企画として五百数十題の演題が発表される。
- 特別講演等のゲストは日本からのみとした。

11. 第 5 0 回大会（報 第 5 0 回大会長 土肥 資料 22-1-11）

- 平成 23 年 4 月 29 日～5 月 1 日までの会期とし、東京大学の本郷キャンパス工学部 2 号館、安田講堂で開催する。
- 招待講演として、Oivind Lorentsen 教授、Niilo Saranummi 教授、Robert Nerem 教授、RonKikinis 教授を予定している。
- 参加費は会員を 13000 円、非会員を 16000 円、学生会員を 5000 円、懇親会を 6000 円、学生の場合 3000 円とする。

12-①. 定款変更案について（審 会長・総務 楠岡、湊）

- 事前に持ち回りで各理事に説明を経た定款変更案について提示したところ、満場一致で承認された。

12-②. 協賛等の状況

- 資料回覧にて承認された。

15-②. その他

- 専門別研究会の評価委員会では、大きな問題はないと判断した。回数の少ない会が散見されるので、連絡を取る。会計は新しいルールを適応させることとなった。
- 今年も未来 ME のデザインパネルの展示をお願いしている。来年度も ME 以外（多摩美とか、デザイン学会）の人も巻き込んで実施する予定（東大でコンペを実施したい）。
- 楠岡先生から退任の挨拶があった。
- 田村先生から新任の挨拶があった。

